

令和5年9月25日

第4期第4回東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会  
資料2-1

## 2. 「わたしの覚え書きノート」の活用について

### (1) 現状

① 【資料2-2】東久留米市高齢者アンケート調査結果報告書（一部抜粋）参照

### ② 作成・配布状況について

	東久留米市在宅療養ガイドブック P38	わたしの覚え書きノート(別冊)
	令和5年3月10,000部	令和3年3月8,000部
配布先	・東久留米市在宅療養相談窓口、地域包括支援センター、在宅介護支援センター ・市内・外医療機関（東久留米市医師会・薬剤師会・歯科医師会含め）158機関 ・市内介護事業所 112機関 ・市内・外訪問看護事業所、訪問リハビリテーション事業所 26機関 ・認定栄養ケア・ステーション、地域活動栄養士会、社会福祉協議会	・東久留米市在宅療養相談窓口、市役所介護福祉課、各地域包括支援センター、在宅介護支援センター ※上記機関にて、対面による説明の上配布
設置場所	・市役所介護福祉課、各地域包括支援センター、在宅介護支援センター ・地域センター、地区センター、図書館	
その他の周知方法	・ホームページ掲載(ダウンロード可)	・ホームページ掲載(ダウンロード可) ・広報折り込み地域包括ケア特集による全戸配布
残部	約6,500部	約600部

### ○【資料2-3】在宅療養ガイドブック(第4版)主な改訂点

・P3 在宅療養生活に向けた相談の流れの改訂

### (2) 「わたしの覚え書きノート」の活用状況について報告

(令和4年度 東久留米市在宅医療・介護連携推進事業課題検討アンケート(第3回集計結果)より抜粋)

#### ①わたしの覚え書きノート」の感想について(自由記述)

・ご本人や介護者の理解度や思いを確認した上で紹介したり、一緒に見たりしながら活用している。

・アセスメントをする流れで使うことが多い。

・終活を考えてもらうきっかけとして提示した。緊急連絡先(身内の情報を言いたがらない人

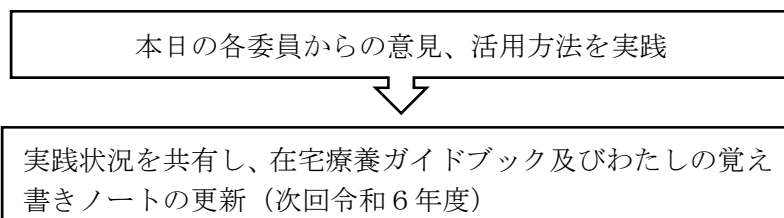
の)を知るきっかけとして使った。

- ・緊急時対応のために記入していただいた。
- ・覚え書きノートの紹介をすると、まだ抵抗感を示す市民の方は若干いる。作成にあたっては、丁寧な説明が必要だと思う。

(3) 検討事項

- ・日常の業務における「わたしの覚え書きノート」使用・活用方法
- ・「わたしの覚え書きノート」の周知・啓発方法(医療・介護関係者、市民等)

(4) 今後のスケジュールについて



【参考】在宅療養ガイドブック作成スケジュール (案)

令和6年 9月	10月	11月	12月	1月	2月	令和7年 3月
協議会 内容の 検討		(各団体) 原稿作成	協議会 内容の 決定			完成 配布
		期日：11月末				